

学校教育目標

『思いやりの心もち すすんで学び たくましく生きる子どもの育成』

- 思いやりの心もち、相手の身になって行動できる子ども (徳…やさしく)
- すすんで学び、豊かな思考力と表現力をもつ子ども (知…かしこく)
- 健康でたくましく、最後までやり遂げる子ども (体…たくましく)



朝の運動場から上の原公園付近まで応援団の練習の声が聞こえてきます。運動会の練習もいよいよ大詰めになりました。明日が練習最終日です。子どもたちは、運動会当日にお家の方や地域の方に立派な演技を見せたいという思いで熱心に練習に取り組んできました。演技内容も日に日に立派なものになっています。

子どもたちは、毎日1～2時間練習をしています。全体練習があるときには、3時間練習をする学年もあります。練習が進むにつれ、疲れもたまってきています。ご家庭では、十分な睡眠と栄養をとらせてください。そして、元気な姿で運動会当日を迎えさせてください。よろしくお願いいたします。



全校の子どもたちが喜んだ1年生を迎える会

1年生を迎える会が5月2日にありました。まず、2～5年生が体育館に入場し1年生の入場を今か今かと待っていました。体育館の中央には、5年生が花のアーチを手に持っています。司会の子どもの進行で1年生が6年生と一緒にアーチをくぐりながら入場してくると、会場が温かい雰囲気に変わりました。

集会では、全員で「さんぽ」の歌を歌い、ドラえもんやのび太が登場して出題する学校クイズや猛獣狩りゲームなどをして大いに盛り上がりました。その後、1年生へのインタビュー、1年生からのメッセージがあり、校歌も全員で楽しく歌いました。とても素敵な集会でした。

当日は雨が降っていたため、校内遠足でしたが、体育館で1年生と6年生が一緒になって、じゃんけん列車やグループ対抗玉入れ大会をして遊びました。他の学年の子どもたちも教室でゲームなどをして過ごしました。その後の弁当も楽しく食べました。



当たり前のことが当たり前ができる

昨日、1、2年生が、2、3時間目に運動会の練習で教室を空けていました。どの学級も机に椅子がきちんと入れられていました。そして、着替えた服も体操服を入れる袋にきちんと入れられていました。このことは当然できていなければならないことです。

「当たり前のことが当たり前ができる。」このことを今年度も本校で大切にします。以下にあげたチャイムで行動する、机に椅子を入れる、雑巾をきちんとかけるなど、当たり前のことが日常できていることが落ち着いた学校生活を生み出します。

どの学級、どの学年でも指導を徹底し、1年間継続していきます。

- 教師も子どももチャイムで行動する。
- 教室移動で席を離れる時は、椅子を入れる。
- 雑巾は雑巾がけにきちんと伸ばしてかけ、雑巾バサミで止める。
- 下足棚には、靴をそろえて入れる。
- どの子どもも名札を付ける。
- 体操服に着替える時は、服をたたんでそろえて、机の上に置く、または袋に入れる。
- 給食室へ給食を取りに来たり返却したりするときは、教師が引率に当たる。
- 給食当番はマスクをきちんとつける。



発見がいっぱい、校区探検

3年生が社会科の学習で校区探検に出かけました。今まで足を運んだことがない場所に足を運んで新しく知ったり、普段通り慣れている場所でも再発見があったりして新鮮な探検ができました。一人ひとりが生き生きとした表情で探検することができました。

子どもたちは、上の原を中心とした方面、市瀬を中心とした方面を歩きながら住宅が多いところやお店のあるところ、川や畑があるところなど、場所によって土地の使われ方が違うことを発見することができました。



※ 毎月23日は、「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」です。家族で読書に取り組みましょう。